

# 視力1.0未満の子どもの割合が前年度より上昇(小学校:36.8%、中学校:57.5%)、 高等学校は前年度より改善(71.9%)

令和7年度 学校保健統計調査結果 (香川県分)

文部科学省から公表された令和7年度 学校保健統計調査結果のうち、香川県分をまとめたものです。

## □ 調査の概要

学校保健統計調査は、幼児、児童及び生徒（以下「児童等」という。）の発育及び健康の状態を明らかにするために、昭和23年度から毎年実施されている基幹統計調査です。

文部科学大臣が指定（抽出）した県内149校（幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む。以下同様）、小学校、中学校、高等学校）に在籍する5歳から17歳（令和7年4月1日現在の満年齢）までの児童等を対象に、令和7年4月～令和7年6月に行われた健康診断の結果をもとに調査を実施したものです。

## □ 調査結果の概要

### ◆発育状態調査

#### ◇身長（2ページの表1）

- ・前年度と比較すると、男子は6, 10, 11, 13, 15, 17歳で、女子は5, 9, 12, 14, 15, 17歳で上回っている。
- ・全国平均と比較すると、男子は6歳を除いた全ての年齢で、女子は5歳を除いた全ての年齢で下回っている。

#### ◇体重（4ページの表2）

- ・前年度と比較すると、男子は5, 6, 10, 12, 13, 17歳で、女子は5, 9, 11, 12, 14, 17歳で上回っている。
- ・全国平均と比較すると、男子は5, 6, 13, 14, 17歳で、女子は5, 6, 9, 11, 12, 14, 17歳で上回っている。

#### ◇肥満傾向児（肥満度が20%以上の者）の出現率（6ページの表3）

- ・前年度と比較すると、男子は5, 6, 10～13, 16, 17歳で、女子は8, 13, 14歳を除いた全ての年齢で上回っている。
- ・全国平均と比較すると、男子は5, 6, 8, 9, 12～14, 16歳、女子は14歳を除いた全ての年齢で上回っている。

### ◆健康状態調査（11ページの表7）

#### ◇裸眼視力1.0未満の者

- ・前年度と比較すると、小学校、中学校では上回っている。高等学校では下回っている。
- ・全国平均と比較すると、小学校、高等学校では上回っているが、中学校では下回っている。

#### ◇むし歯（う歯）のある者（処置完了者を含む）

- ・前年度と比較すると、全ての学校種で下回っている（改善）。
- ・全国平均と比較すると、幼稚園、小学校、中学校で上回っている。高等学校では下回っている。

## □ 調査対象

区 分	全学校数 (校)	うち調査対象校		全在籍者数 (人)	うち調査対象者				
		実数 (校)	割合 (%)		発育状態		健康状態		
					実数 (人)	割合 (%)	実数 (人)	割合 (%)	
合 計	454	149	32.8	96,797	12,554	13.0	61,858	63.9	
内 訳	幼 稚 園	188	31	16.5	4,329	882	20.4	992	22.9
	小 学 校	155	57	36.8	45,173	5,399	12.0	26,771	59.3
	中 学 校	71	37	52.1	24,388	4,113	16.9	17,642	72.3
	高 等 学 校	40	24	60.0	22,907	2,160	9.4	16,453	71.8

※発育状態は、調査対象校の該当年齢の無作為抽出児童等が対象で、健康状態は、調査対象校の該当年齢の全児童等が対象である。

※学校数は、学校基本調査結果による。ただし、休校を除く。

■ 発育状態調査

【身長(平均値)】

前年度と比較すると、男子は6, 10, 11, 13, 15, 17歳で、女子は5, 9, 12, 14, 15, 17歳で上回っている。(表1)

全国平均と比較すると、男子は6歳を除いた全ての年齢で、女子は5歳を除いた全ての年齢で下回っている。(表1、図1)

各年齢間の身長差をみると、男子は11~12歳及び12~13歳で7.6cm、女子は10~11歳の間が6.9cmと最も大きくなっている。(図2)

30年前(親の世代)の平成7年度と比較すると、男子は6, 9~14歳で、女子は5, 8, 9, 11, 12, 14, 17歳で親の世代の値を上回っており、特に男子の13歳で1.2cm、女子の12歳で0.6cmと最も伸びている。(表1、図3)

表1 年齢別身長の平均値

(cm)

区分		男 子						女 子							
		令和7年度			平成7年度			令和7年度			平成7年度				
		香川県		全国	順位	香川県		全国	順位	香川県		全国	順位		
		A	対前年度差			A	対前年度差			A	対前年度差				
幼稚園	5歳	110.0	0.0	110.4	△ 0.4	41	110.5	△ 0.5	110.0	0.8	109.5	0.5	10	109.8	0.2
小学校	6歳	116.6	0.2	116.6	0.0	21	116.3	0.3	115.3	△ 0.5	115.6	△ 0.3	36	115.5	△ 0.2
	7歳	122.1	△ 0.2	122.7	△ 0.6	37	122.5	△ 0.4	121.1	0.0	121.6	△ 0.5	40	121.2	△ 0.1
	8歳	127.5	△ 0.7	128.3	△ 0.8	45	127.9	△ 0.4	127.1	△ 0.5	127.5	△ 0.4	38	127.0	0.1
	9歳	133.5	0.0	134.0	△ 0.5	36	133.4	0.1	133.5	0.4	133.8	△ 0.3	34	133.1	0.4
	10歳	139.1	0.5	139.5	△ 0.4	31	138.8	0.3	140.1	△ 0.9	140.9	△ 0.8	44	140.1	0.0
	11歳	145.3	0.2	146.1	△ 0.8	39	144.5	0.8	147.0	△ 0.9	147.4	△ 0.4	36	146.6	0.4
中学校	12歳	152.9	△ 0.1	153.8	△ 0.9	46	151.8	1.1	151.9	0.1	152.4	△ 0.5	33	151.3	0.6
	13歳	160.5	0.9	161.1	△ 0.6	36	159.3	1.2	154.0	△ 0.9	155.0	△ 1.0	45	154.8	△ 0.8
	14歳	165.2	△ 0.1	166.1	△ 0.9	43	164.6	0.6	156.2	0.1	156.4	△ 0.2	28	156.1	0.1
高等学校	15歳	167.9	0.1	168.6	△ 0.7	40	168.0	△ 0.1	156.5	0.3	157.0	△ 0.5	36	157.3	△ 0.8
	16歳	168.8	△ 0.4	169.9	△ 1.1	44	169.8	△ 1.0	156.7	△ 0.7	157.5	△ 0.8	44	157.4	△ 0.7
	17歳	170.0	0.5	170.6	△ 0.6	38	170.3	△ 0.3	157.7	0.1	157.9	△ 0.2	23	157.5	0.2

(注)     は、全国平均を上回るものを示す。

図1 身長の全国平均値との差

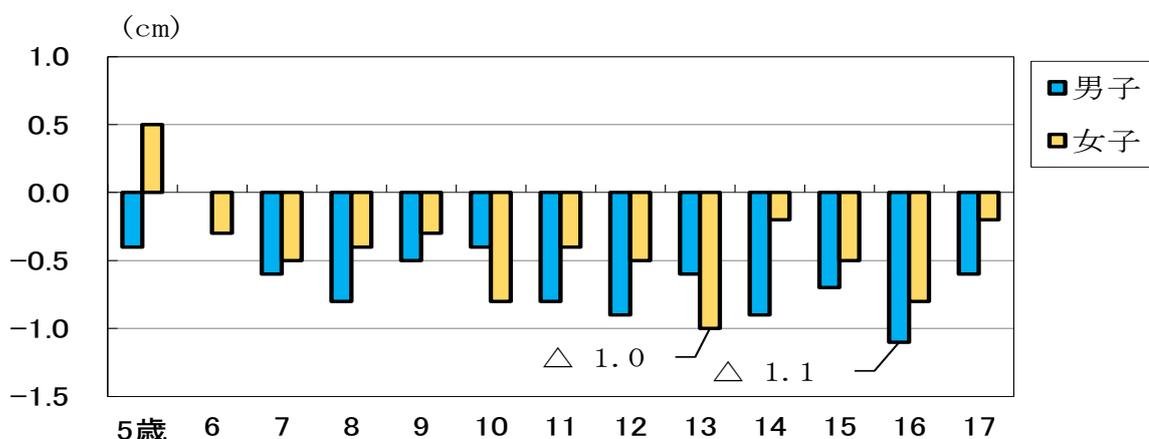
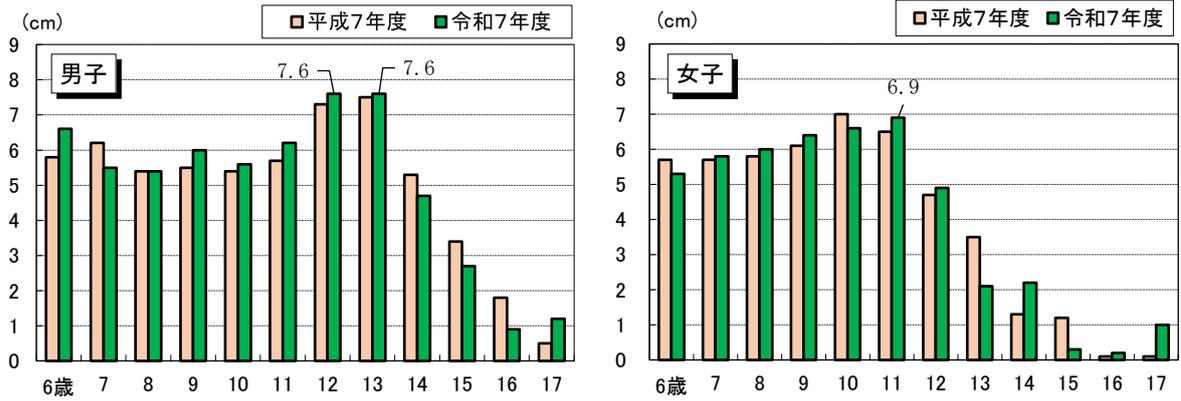
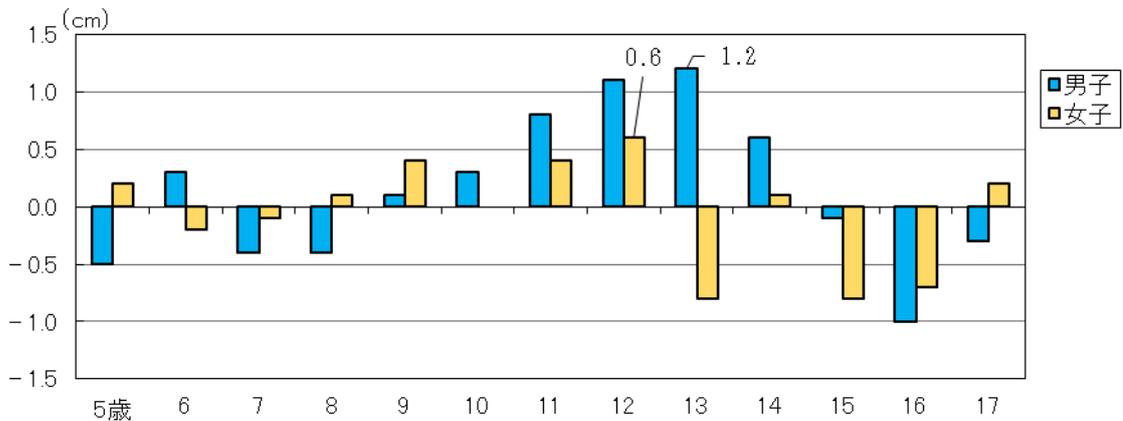


図2 各年齢間の身長差



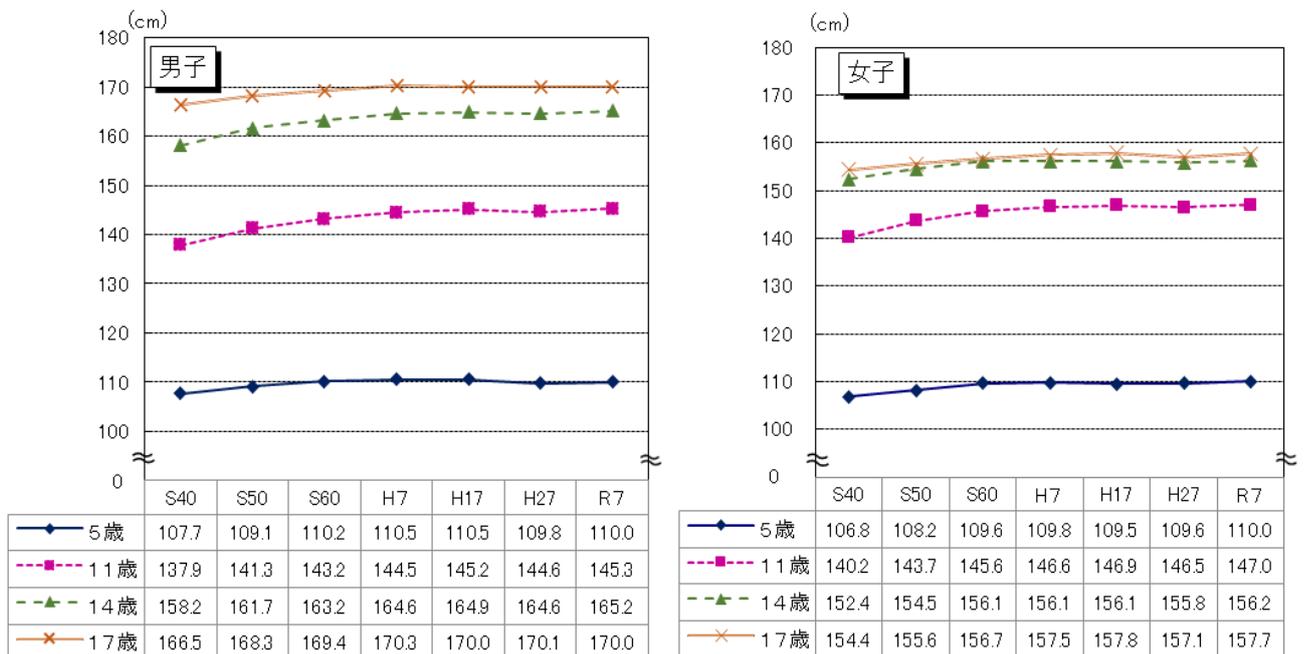
(注) 図中の6歳は(6歳-5歳)であり、7歳は(7歳-6歳)となっている。以下の各図においても同じ。

図3 30年前(親の世代)との身長差 (令和7年度-平成7年度)



各学校段階の最高学年の身長について、60年間の推移を10年ごとにみると、男子の最高値は5歳が平成7年度及び平成17年度、11歳、14歳が令和7年度、17歳が平成7年度となっており、女子の最高値は5歳、11歳、14歳が令和7年度、17歳が平成7年度となっている。(図4)

図4 身長の平均値の推移 (昭和40年度~令和7年度の10年間隔)



【体 重（平均値）】

前年度と比較すると、男子は5, 6, 10, 12, 13, 17歳で、女子は5, 9, 11, 12, 14, 17歳で上回っている。（表2）

全国平均と比較すると、男子は5, 6, 13, 14, 17歳、女子は5, 6, 9, 11, 12, 14, 17歳で上回っている。（表2、図5）

各年齢間の体重差をみると、男子は11～12歳の間が5.9kg、女子は10～11歳の間が6.0kgと最も大きくなっている。（図6）

30年前（親の世代）の平成7年度と比較すると、男子は10～14歳で、女子は5, 9, 11, 12歳で親の世代の値を上回っており、特に男子の13歳で0.8kg、女子の11歳で1.0kgと最も増加している。（表2、図7）

表2 年齢別体重の平均値

区 分		男 子							女 子						
		令和7年度				平成7年度			令和7年度				平成7年度		
		香川県		全 国		順位	香川県		全 国		順位	香川県		全 国	
		A	対前年度差	B	A-B		C	A-C	A	対前年度差		B	A-B	C	A-C
幼稚園	5歳	19.1	0.3	19.0	0.1	11	19.3	△ 0.2	19.1	0.4	18.7	0.4	6	18.9	0.2
小学校	6歳	21.7	0.4	21.4	0.3	6	21.8	△ 0.1	21.1	0.0	21.0	0.1	16	21.2	△ 0.1
	7歳	23.8	△ 0.3	24.2	△ 0.4	41	24.3	△ 0.5	23.3	0.0	23.6	△ 0.3	38	23.8	△ 0.5
	8歳	27.1	△ 0.4	27.4	△ 0.3	37	27.3	△ 0.2	26.6	△ 0.5	26.8	△ 0.2	38	26.7	△ 0.1
	9歳	30.8	△ 0.4	31.2	△ 0.4	37	31.2	△ 0.4	30.6	0.8	30.4	0.2	20	30.4	0.2
	10歳	34.8	0.6	35.1	△ 0.3	31	34.4	0.4	34.6	△ 0.3	34.9	△ 0.3	35	34.6	0.0
	11歳	39.1	0.0	39.6	△ 0.5	36	38.9	0.2	40.6	0.1	39.8	0.8	9	39.6	1.0
中学校	12歳	45.0	0.1	45.2	△ 0.2	25	44.7	0.3	45.1	0.8	44.4	0.7	8	44.7	0.4
	13歳	50.7	1.0	50.4	0.3	17	49.9	0.8	47.5	△ 0.4	47.5	0.0	24	48.1	△ 0.6
	14歳	55.3	△ 0.1	55.0	0.3	17	55.2	0.1	50.5	0.7	49.7	0.8	7	50.6	△ 0.1
高等学校	15歳	58.0	△ 1.6	59.1	△ 1.1	41	60.1	△ 2.1	50.3	△ 0.4	51.0	△ 0.7	43	53.2	△ 2.9
	16歳	59.3	△ 0.7	60.3	△ 1.0	44	61.6	△ 2.3	51.9	△ 0.2	51.9	0.0	26	53.5	△ 1.6
	17歳	62.3	0.4	62.2	0.1	25	63.1	△ 0.8	52.8	0.7	52.5	0.3	16	53.6	△ 0.8

（注） は、全国平均を上回るものを示す。

図5 体重の全国平均値との差

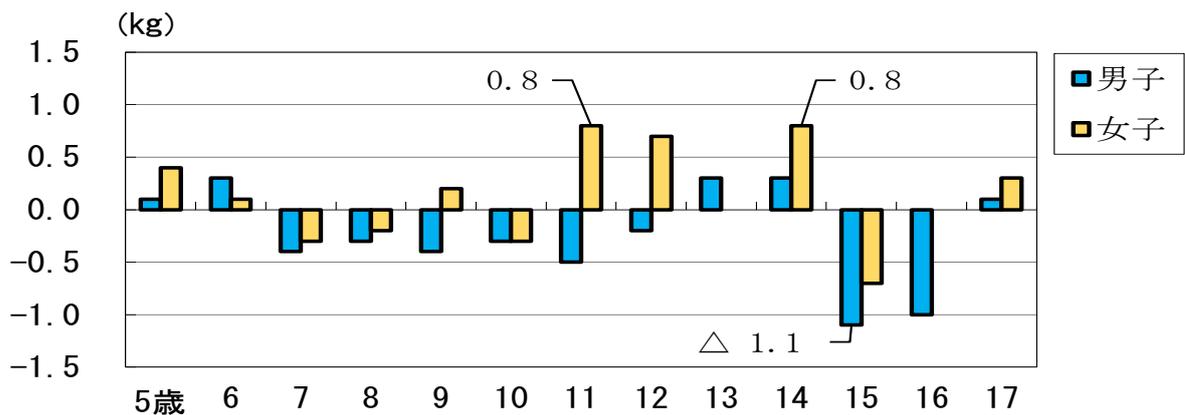


図6 各年齢間の体重差

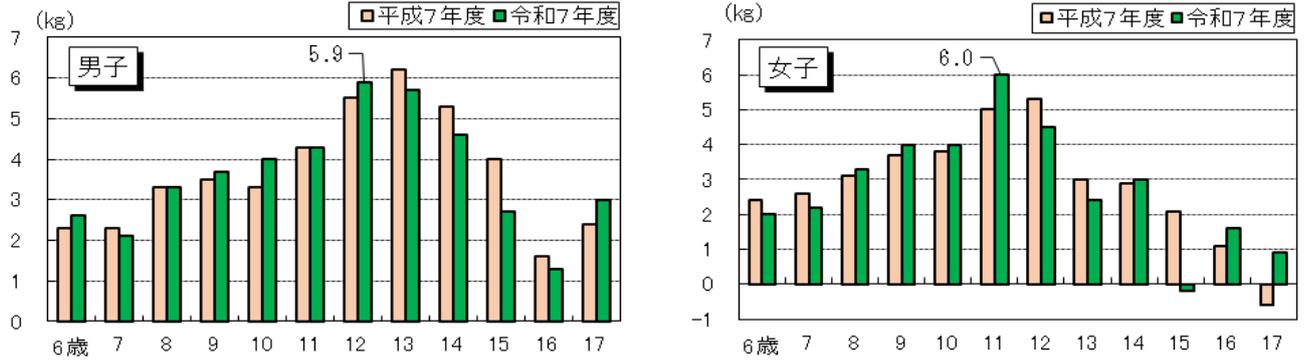
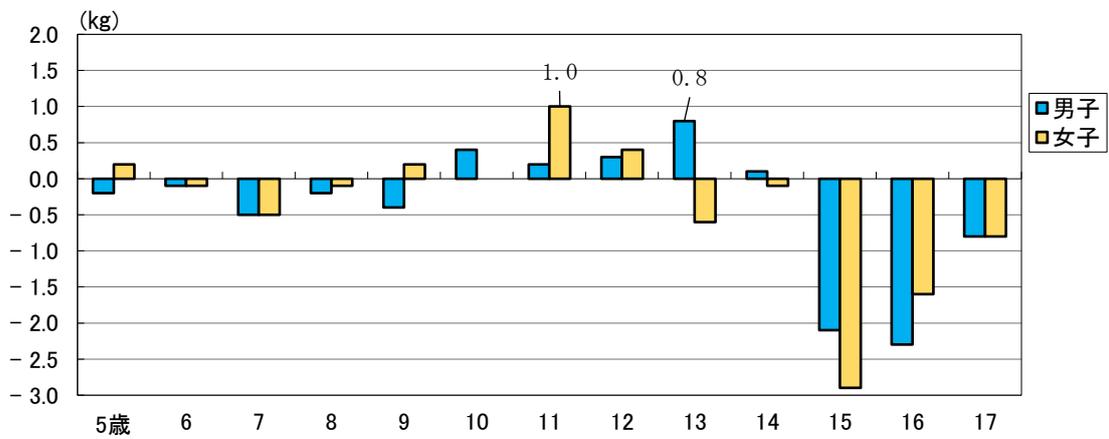
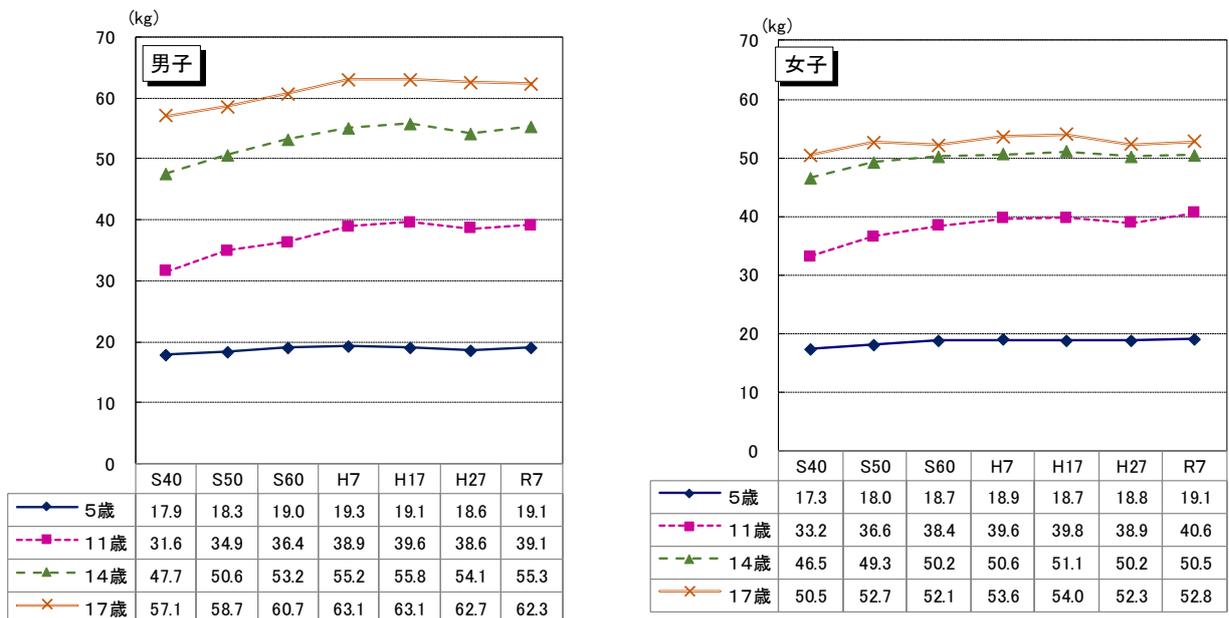


図7 30年前（親の世代）との体重差（令和7年度－平成7年度）



各学校段階の最高学年の体重について、60年間の推移を10年ごとにみると、男子の最高値は5歳が平成7年度、11歳、14歳が平成7年度、17歳が平成7年度及び平成7年度となっており、女子の最高値は5歳、11歳が令和7年度、14歳、17歳が平成7年度となっている。（図8）

図8 体重の平均値の推移（昭和40年度～令和7年度の10年間隔）



**【肥満傾向児の出現率】**

前年度と比較すると、男子は5, 6, 10~13, 16, 17 歳で、女子は8, 13, 14 歳を除いた全ての年齢で上回っている。(表3)

全国平均と比較すると、男子は5, 6, 8, 9, 12~14, 16 歳で、女子は 14 歳を除いた全ての年齢で上回っている。(表3)

各年齢別の出現率は、男子が12歳で14.16%、女子が12歳で13.07%と最も高くなっている。(表3、図9)

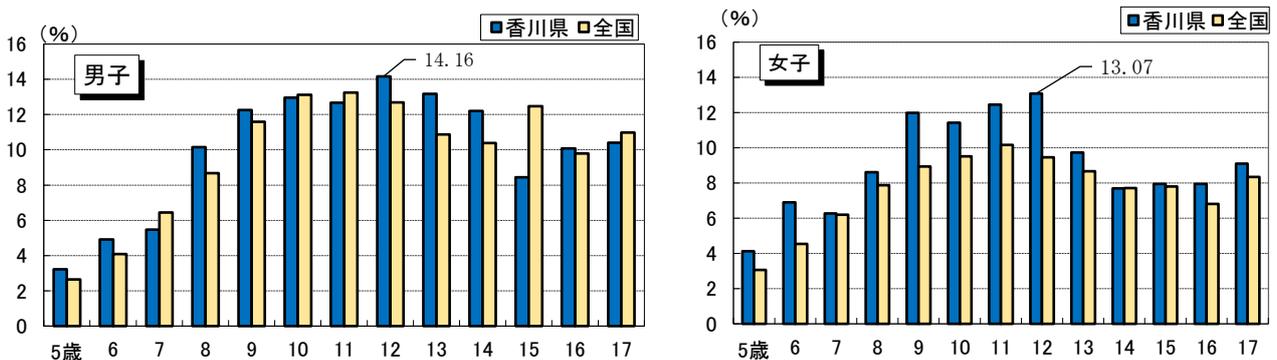
**表3 肥満傾向児の出現率**

(%) , (ポイント)

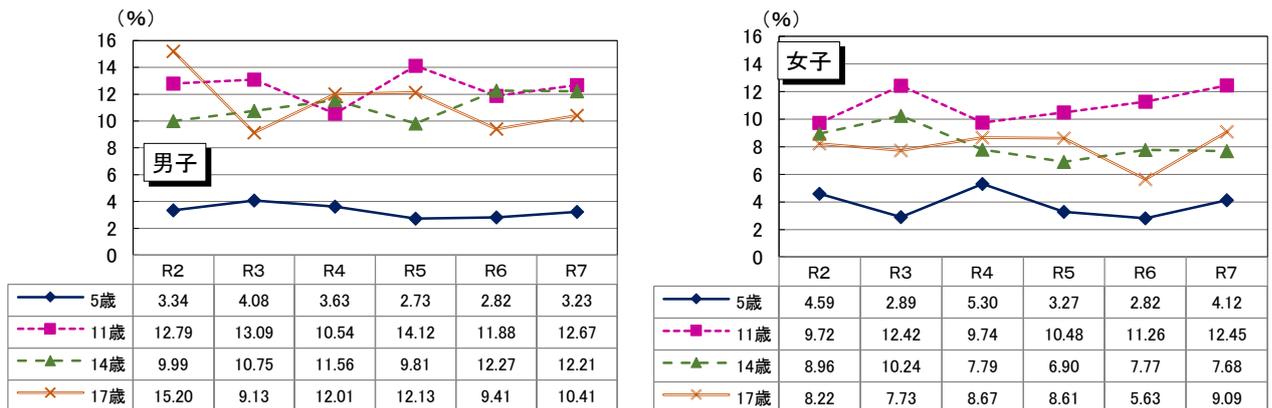
区分	年齢	計					男子					女子				
		香川県 A	対前年度差	全国 B	A-B	順位	香川県 A	対前年度差	全国 B	A-B	順位	香川県 A	対前年度差	全国 B	A-B	順位
幼稚園	5歳	3.67	0.85	2.86	0.81	12	3.23	0.41	2.66	0.57	14	4.12	1.30	3.06	1.06	13
小学校	6歳	5.91	0.77	4.31	1.60	8	4.92	0.23	4.10	0.82	17	6.90	1.27	4.53	2.37	8
	7歳	5.85	△ 0.29	6.32	△ 0.47	33	5.47	△ 0.77	6.44	△ 0.97	37	6.26	0.23	6.19	0.07	26
	8歳	9.39	△ 0.59	8.28	1.11	20	10.15	△ 0.38	8.68	1.47	12	8.61	△ 0.77	7.86	0.75	23
	9歳	12.12	0.66	10.29	1.83	14	12.25	△ 0.56	11.59	0.66	23	11.98	1.94	8.93	3.05	10
	10歳	12.20	1.91	11.36	0.84	20	12.95	0.69	13.12	△ 0.17	28	11.41	3.17	9.51	1.90	11
中学校	11歳	12.56	0.99	11.73	0.83	20	12.67	0.79	13.24	△ 0.57	29	12.45	1.19	10.16	2.29	12
	12歳	13.62	1.54	11.10	2.52	9	14.16	1.57	12.68	1.48	12	13.07	1.52	9.46	3.61	3
	13歳	11.49	0.43	9.79	1.70	15	13.18	1.07	10.87	2.31	12	9.72	△ 0.21	8.66	1.06	21
高等学校	14歳	10.02	△ 0.05	9.08	0.94	15	12.21	△ 0.06	10.39	1.82	10	7.68	△ 0.09	7.71	△ 0.03	27
	15歳	8.20	△ 2.68	10.19	△ 1.99	43	8.45	△ 6.06	12.47	△ 4.02	46	7.93	0.90	7.79	0.14	31
	16歳	9.04	0.93	8.33	0.71	21	10.08	0.06	9.79	0.29	25	7.94	1.84	6.80	1.14	16
	17歳	9.76	2.23	9.69	0.07	24	10.41	1.00	10.98	△ 0.57	27	9.09	3.46	8.34	0.75	21

(注) 1 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。  
 2 肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100 (%)  
 は、全国平均を上回るものを示す。

**図9 肥満傾向児の年齢別出現率**



**図10 肥満傾向児の出現率の推移**



【痩身傾向児の出現率】

前年度と比較すると、男子は9, 13~16歳で、女子は6, 8, 10, 11, 15~17歳で上回っている。(表4)

全国平均と比較すると、男子は7~9歳で、女子は6, 10, 15, 17歳で上回っている。(表4)

各年齢別の出現率は、男子が15歳で2.78%、女子が15歳で5.60%と最も高くなっている。(表4、図11)

表4 痩身傾向児の出現率

区分	年齢	計					男子					女子				
		香川県		全国		順位	香川県		全国		順位	香川県		全国		順位
		A	対前年度差	B	A-B		A	対前年度差	B	A-B		A	対前年度差	B	A-B	
幼稚園	5歳	—	—	0.21	—	—	—	—	0.22	—	—	—	—	0.20	—	—
小学校	6歳	0.59	0.02	0.55	0.04	18	0.21	△ 0.75	0.40	△ 0.19	33	0.96	0.82	0.70	0.26	11
	7歳	0.35	△ 0.49	0.48	△ 0.13	30	0.55	—	0.39	0.16	13	0.13	△ 1.59	0.57	△ 0.44	44
	8歳	1.09	0.69	1.13	△ 0.04	21	1.28	—	1.12	0.16	16	0.88	0.05	1.14	△ 0.26	29
	9歳	2.01	0.13	1.68	0.33	8	2.25	1.14	1.59	0.66	6	1.75	△ 0.94	1.77	△ 0.02	18
	10歳	2.48	0.60	2.83	△ 0.35	29	1.68	△ 0.41	2.88	△ 1.20	44	3.32	1.65	2.78	0.54	8
	11歳	2.32	0.23	3.40	△ 1.08	42	1.86	△ 1.31	3.70	△ 1.84	45	2.80	1.82	3.09	△ 0.29	24
中学校	12歳	2.33	△ 0.77	3.94	△ 1.61	45	2.25	△ 0.75	3.44	△ 1.19	41	2.42	△ 0.78	4.46	△ 2.04	44
	13歳	1.76	△ 0.17	3.25	△ 1.49	46	1.87	0.44	2.76	△ 0.89	41	1.64	△ 0.84	3.76	△ 2.12	46
	14歳	1.80	△ 0.42	3.26	△ 1.46	43	2.20	0.86	3.07	△ 0.87	38	1.37	△ 1.78	3.46	△ 2.09	46
高等学校	15歳	4.16	1.96	3.62	0.54	7	2.78	1.70	3.66	△ 0.88	30	5.60	2.21	3.58	2.02	1
	16歳	2.08	0.71	3.17	△ 1.09	40	2.47	1.19	3.21	△ 0.74	32	1.66	0.21	3.13	△ 1.47	42
	17歳	2.42	0.02	2.91	△ 0.49	32	2.30	△ 0.44	3.41	△ 1.11	35	2.55	0.50	2.38	0.17	23

- (注) 1 痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。  
 2 肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100 (%)  
 3 「—」については、該当者がいない場合である。  
 4 青いセルは、全国平均を上回るものを示す。

図11 痩身傾向児の年齢別出現率

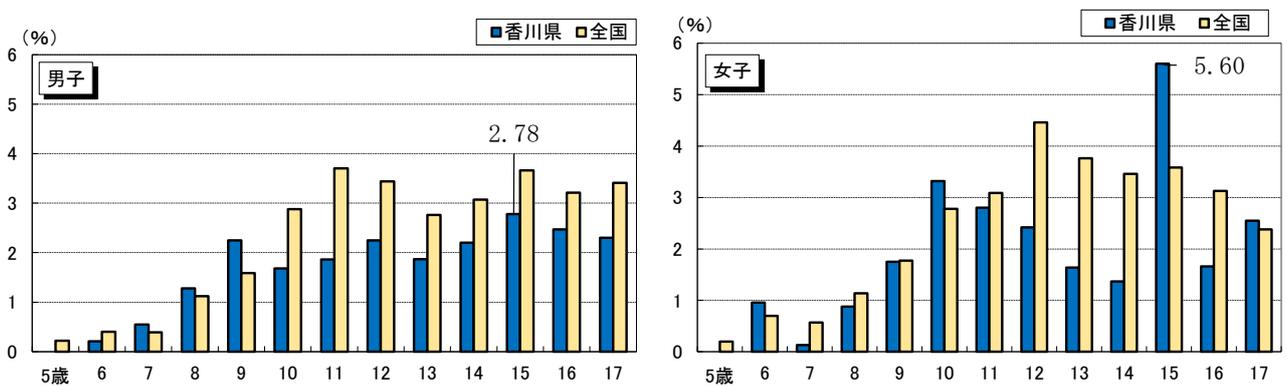
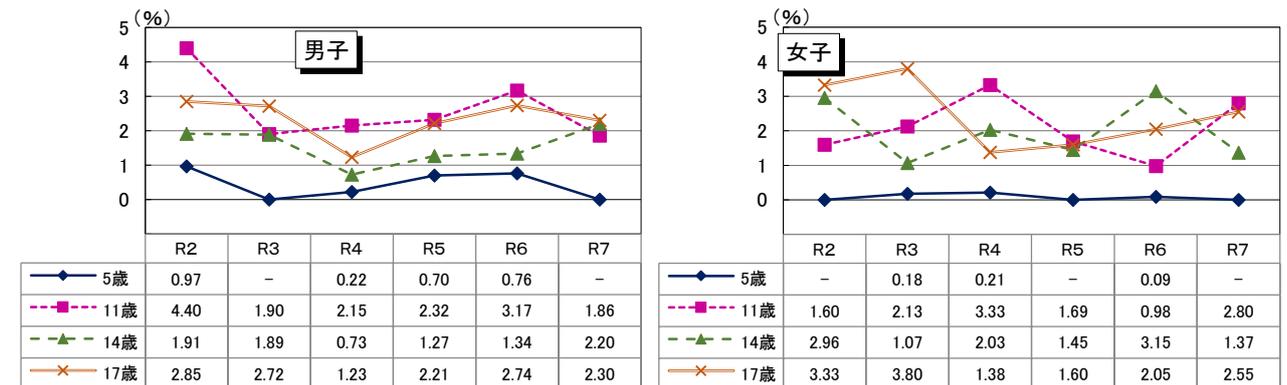


図12 痩身傾向児の出現率の推移



## ■ 健康状態調査

### 【主な疾病・異常被患率】

各年齢別の主な疾病・異常被患率をみると、「裸眼視力1.0未満」は、年齢が進むにつれて被患率がおおむね高くなる傾向がある。(表5)

表5 疾病・異常の被患率

(%)

区分	裸眼視力				眼の 疾病・ 異常	耳鼻咽喉			歯・口腔			アトピー 性 皮膚炎	心電図 異常	蛋白 検出 の者	ぜん息	
	計	1.0未満 0.7以上	0.7未満 0.3以上	0.3未満		耳疾患	鼻・ 副鼻腔 疾患	口腔 咽喉頭 疾患・ 異常	むし歯(う歯)							
									計	処 置 完了者	未処置 歯の ある者					
幼稚園 5歳	X	X	X	X	1.9	4.1	2.1	0.2	21.2	5.3	15.9	1.2	…	1.0	0.1	
小学校	計	36.8	12.3	14.6	9.9	4.5	6.0	10.6	0.2	32.5	16.5	15.9	2.4	3.8	0.5	4.6
	6歳	25.1	15.2	8.3	1.6	4.1	9.6	12.1	0.2	27.4	9.6	17.8	2.5	3.8	0.1	4.3
	7歳	26.5	12.9	9.4	4.2	4.2	6.3	10.0	0.2	34.6	15.4	19.2	2.4	…	0.6	5.7
	8歳	35.4	12.4	15.3	7.6	4.6	5.8	10.4	0.3	37.9	19.8	18.1	2.4	…	0.2	5.3
	9歳	39.3	11.5	16.8	11.0	4.9	5.2	9.9	0.1	37.1	20.2	16.9	2.3	…	0.3	4.9
	10歳	42.8	9.5	19.0	14.4	4.3	5.7	11.5	0.1	32.3	19.1	13.2	2.6	…	0.5	3.5
中学校	11歳	49.3	12.6	17.8	19.0	4.9	4.0	9.7	0.1	25.5	14.4	11.1	2.3	…	1.0	4.1
	計	57.5	12.6	20.1	24.8	2.7	4.8	6.8	0.1	29.2	21.1	8.2	3.3	4.4	3.0	2.6
	12歳	51.1	X	X	X	2.8	5.0	6.0	-	25.5	17.7	7.8	3.3	4.4	3.2	2.6
	13歳	53.1	8.6	16.6	27.9	2.6	4.8	6.6	0.1	29.3	20.6	8.6	3.3	…	3.1	2.6
高等学校	14歳	68.1	12.1	25.1	30.9	2.7	4.6	7.9	0.1	32.8	24.7	8.1	3.4	…	2.8	2.5
	計	71.9	7.0	11.4	53.4	2.9	3.4	4.5	0.0	29.5	21.8	7.7	2.8	4.0	1.4	1.6
	15歳	72.4	8.1	14.1	50.3	3.1	3.3	3.8	0.0	24.3	18.1	6.2	3.0	4.0	1.9	1.7
	16歳	70.6	6.4	10.6	53.6	3.3	4.0	4.7	0.0	30.5	22.3	8.2	2.4	…	1.3	1.4
17歳	72.6	6.7	9.6	56.4	2.3	3.0	4.8	0.0	33.8	25.1	8.7	3.0	…	1.0	1.6	

(注) 1 この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載のあった者)の割合の推定値を示したものである。

2 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ実施している。

3 「…」については、調査対象とならなかった場合である。「-」については、該当者がいない場合である。

4 「X」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者が100人(5歳は50人)未満、回答校が1校以下または疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値を公表しない。

5 四捨五入の関係で、計と内訳が一致しない場合がある。

【学校種別疾病・異常被患率】

小学校、中学校、高等学校で「裸眼視力1.0未満」が最も高くなっており、幼稚園では「むし歯(う歯)」が最も高くなっている。(表6)

表6 学校種別疾病・異常の被患率

順位	幼稚園		小学校		中学校		高等学校	
	区分	%	区分	%	区分	%	区分	%
1	むし歯(う歯)	21.2	裸眼視力1.0未満	36.8	裸眼視力1.0未満	57.5	裸眼視力1.0未満	71.9
2	歯列・咬合	7.0	むし歯(う歯)	32.5	むし歯(う歯)	29.2	むし歯(う歯)	29.5
3	歯・口腔(その他)	4.5	鼻・副鼻腔疾患	10.6	鼻・副鼻腔疾患	6.8	鼻・副鼻腔疾患	4.5
4	耳疾患	4.1	歯・口腔(その他)	9.1	歯列・咬合	5.8	心電図異常	4.0
5	鼻・副鼻腔疾患	2.1	耳疾患	6.0	歯垢の状態	5.7	歯垢の状態	3.7

(注) 1 「むし歯(う歯)」は、処置完了者と未処置歯のある者の合計割合

2 幼稚園の「裸眼視力1.0未満」の者の割合(計)は非公表 [8ページの表5欄外の(注)4参照]

◎ むし歯(う歯)

むし歯(う歯)のある者の割合は、幼稚園が21.2%、小学校が32.5%、中学校が29.2%、高等学校が29.5%となっているが、前年度と比較すると全ての学校種で低下している。(表7)

年齢別にみると、8歳が37.9%と最も高く、次いで9歳の37.1%、7歳の34.6%となっている。(表5、図13)

むし歯(う歯)のある者の割合の推移をみると、全ての学校種でおおむね低下傾向にある。(図14)

◎ 歯垢の状態・歯肉の状態

歯垢の状態(歯に相当の付着がある)の割合は、小学校、中学校、高等学校で、前年度より低下している。歯肉の状態(専門医による診断が必要)の割合は、幼稚園、小学校で増加しているが、中学校、高等学校では低下している。(表7、図15、図16)

図13 むし歯(う歯)のある者の割合

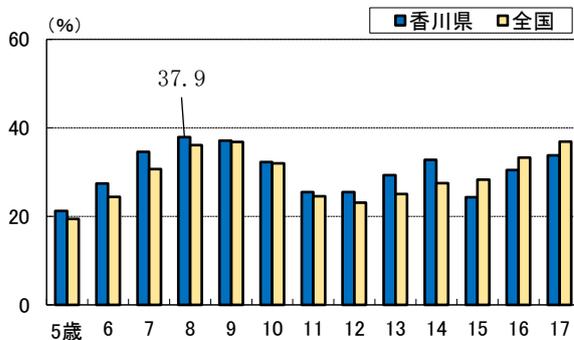


図14 むし歯(う歯)のある者の割合の推移

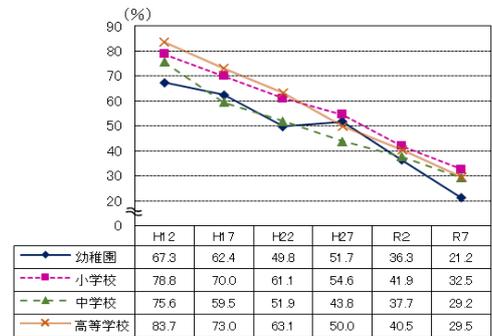


図15 歯垢の状態(歯に相当の付着がある)の割合の推移

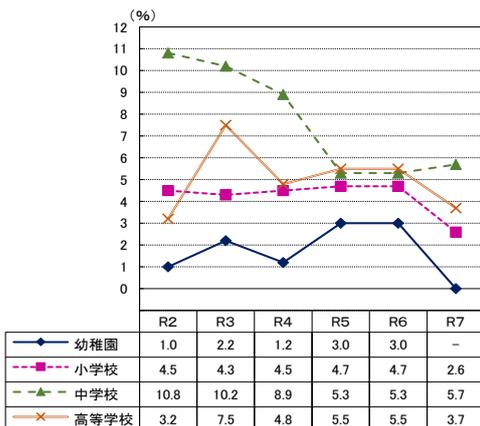
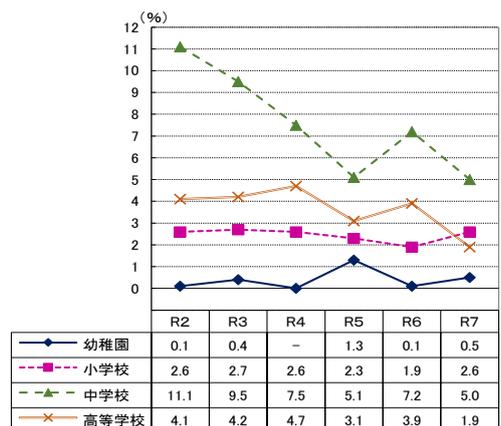


図16 歯肉の状態(専門医による診断が必要)の割合の推移



◎ 裸眼視力 1.0 未満の者

裸眼視力 1.0 未満の者の割合は、小学校が 36.8%、中学校が 57.5%、高等学校は 71.9%となっており、前年度より小学校、中学校で上昇しており、高等学校では低下している。(表 7)

年齢別にみると、17 歳で 72.6%と最も高くなっている。(表 5、図 17)

図 17 裸眼視力 1.0 未満の者の割合

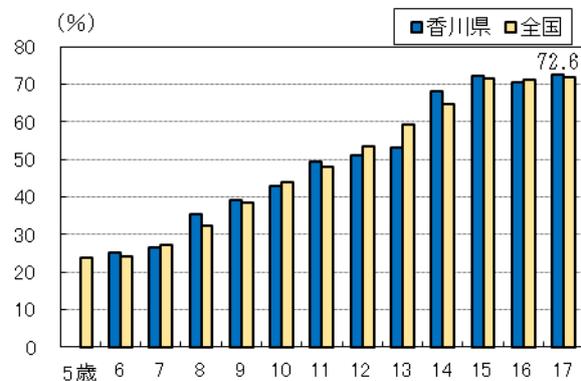
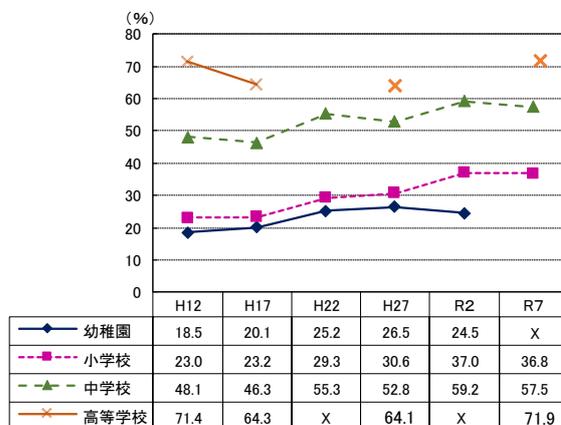


図 18 裸眼視力 1.0 未満の者の割合の推移



◎ 鼻・副鼻腔疾患

鼻・副鼻腔疾患の者の割合は、幼稚園が 2.1%、小学校が 10.6%、中学校が 6.8%、高等学校が 4.5%となっている。年齢別にみると 6 歳が 12.1%と最も高くなっている。前年度と比較すると、小学校、中学校、高等学校で低下している。(表 5、表 7、図 19)

◎ アトピー性皮膚炎

アトピー性皮膚炎の者の割合は、幼稚園が 1.2%、小学校が 2.4%、中学校が 3.3%、高等学校が 2.8%となっている。年齢別にみると 14 歳が 3.4%と最も高くなっている。前年度と比較すると、中学校で上昇している。(表 5、表 7、図 20)

図 19 鼻・副鼻腔疾患の者の割合

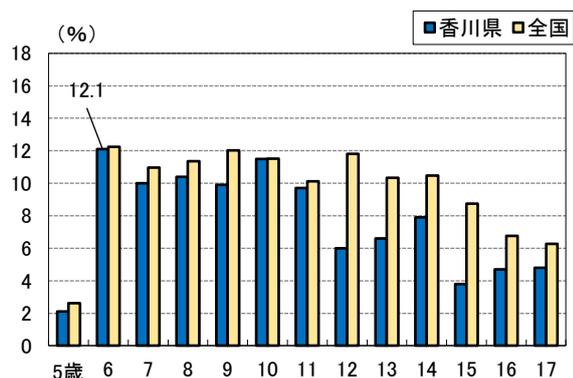
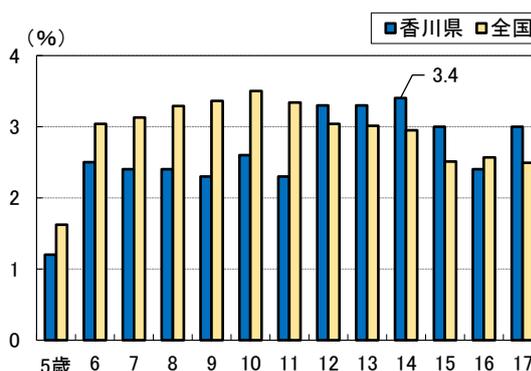


図 20 アトピー性皮膚炎の者の割合



**【主な疾病・異常被患率の全国比較】**

主な疾病・異常被患率について全国平均と比較すると、

「むし歯（う歯）のある者」については、幼稚園、小学校、中学校で上回っている。

「裸眼視力1.0未満の者」については、小学校、高等学校で上回っている。

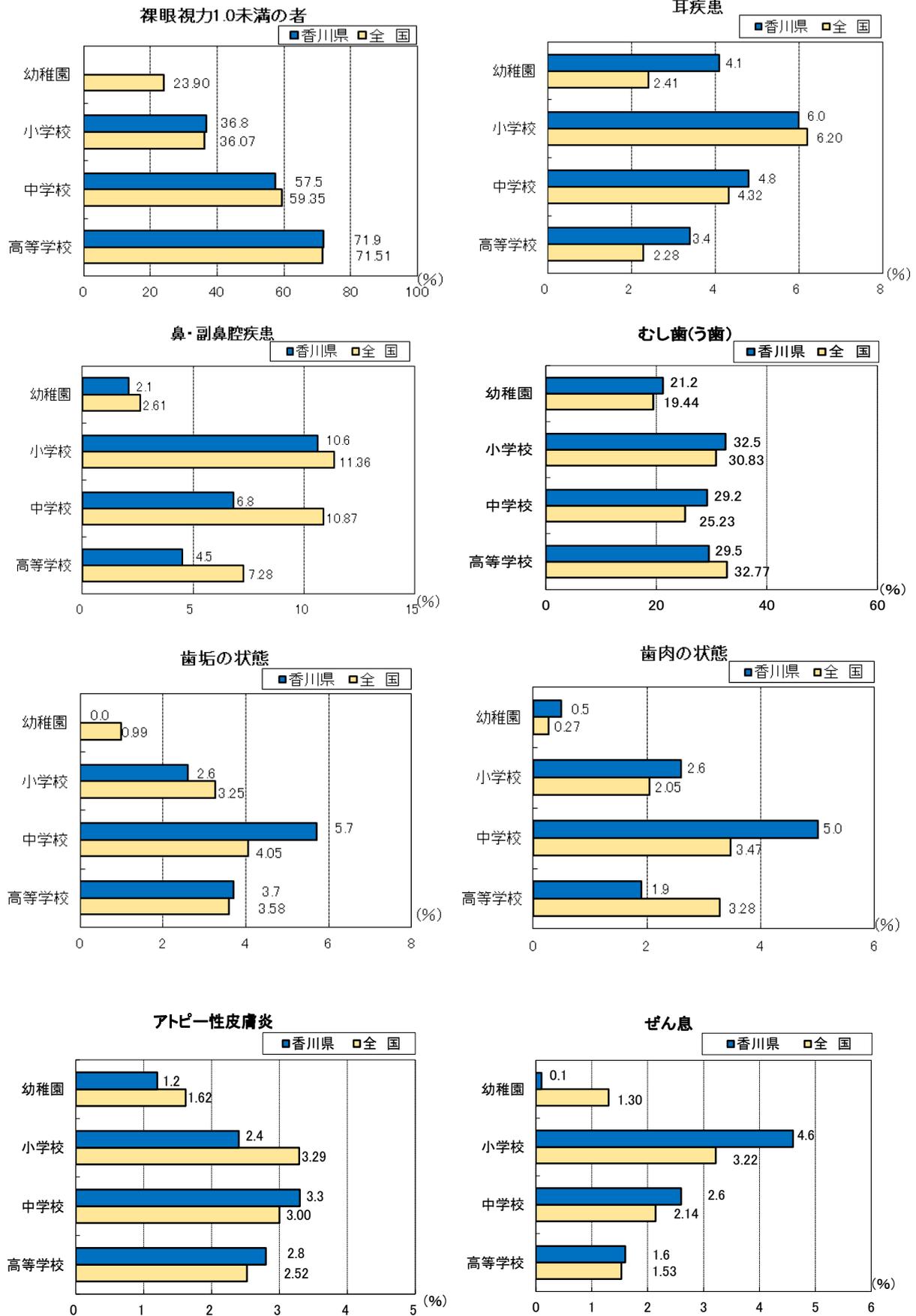
「歯垢の状態」については、中学校、高等学校で上回っている。（いずれも表7、図21）

**表7 主な疾病・異常被患率の全国比較**

区分	年度	県	裸眼視力1.0未満の者	眼の疾病・異常	耳疾患	鼻・副鼻腔疾患	むし歯(う歯)			歯・口腔		アトピー性皮膚炎	心電図異常	蛋白検出の者	ぜん息	
							計	処置完了者	未処置歯のある者	歯垢の状態	歯肉の状態					
							国	国	国	国	国					
幼稚園	3年度	県	29.4	2.3	4.5	4.2	27.1	8.8	18.2	2.2	0.4	1.2	…	1.7	0.8	
		国	24.81	1.48	2.00	2.96	26.49	11.07	15.42	0.84	0.30	1.75	…	0.66	1.48	
	4年度	県	31.2	2.4	6.0	6.6	26.4	10.2	16.2	1.2	-	0.3	…	1.2	1.1	
		国	24.95	1.27	2.36	3.03	24.93	10.05	14.88	1.06	0.28	1.62	…	0.87	1.11	
	5年度	県	25.8	2.2	4.0	2.6	29.2	10.2	19.0	3.0	1.3	1.5	…	0.6	0.5	
		国	22.92	1.63	2.19	2.99	22.55	8.71	13.84	1.09	0.31	1.48	…	1.12	1.15	
	6年度	県	X	0.5	1.3	2.1	28.0	11.6	16.4	1.2	0.1	1.6	…	0.7	1.9	
		国	26.53	1.44	1.92	2.74	20.74	7.44	13.30	0.96	0.15	1.61	…	1.16	1.20	
	7年度	県	X	1.9	4.1	2.1	21.2	5.3	15.9	-	0.5	1.2	…	1.0	0.1	
		国	23.90	1.75	2.41	2.61	19.44	6.98	12.46	0.99	0.27	1.62	…	0.59	1.30	
	小学校	3年度	県	36.9	4.4	7.1	10.9	42.9	24.3	18.6	4.3	2.7	2.3	4.8	1.0	2.6
			国	36.87	5.13	6.76	11.87	39.04	20.62	18.42	3.40	1.97	3.20	2.50	0.87	3.27
		4年度	県	36.7	4.7	6.8	13.1	40.8	21.2	19.6	4.5	2.6	2.2	4.6	1.0	2.2
			国	37.88	5.28	6.60	11.44	37.02	19.32	17.70	3.15	1.80	3.14	2.55	0.98	2.85
5年度		県	38.1	4.2	6.5	13.5	38.0	17.8	20.2	4.7	2.3	3.7	5.0	0.5	2.9	
		国	37.79	5.32	6.28	12.38	34.81	17.49	17.32	3.12	1.73	3.25	2.44	0.84	2.87	
6年度		県	35.9	3.9	6.5	10.8	34.4	18.2	16.2	3.2	1.9	4.2	5.8	0.9	3.4	
		国	36.84	5.54	6.28	12.10	32.89	16.38	16.51	3.16	1.79	3.24	2.59	0.96	2.87	
7年度		県	36.8	4.5	6.0	10.6	32.5	16.5	15.9	2.6	2.6	2.4	3.8	0.5	4.6	
		国	36.07	5.79	6.20	11.36	30.83	15.07	15.76	3.25	2.05	3.29	2.52	0.95	3.22	
中学校		3年度	県	60.4	3.7	4.8	8.0	33.3	20.4	12.9	10.2	9.5	2.6	4.5	2.3	1.9
			国	60.66	4.84	4.89	10.06	30.38	18.04	12.33	4.61	4.14	2.95	3.07	2.80	2.31
		4年度	県	63.2	4.1	6.1	8.0	32.0	21.3	10.7	8.9	7.5	3.7	5.2	2.6	2.1
			国	61.23	4.95	4.76	10.70	28.24	16.80	11.43	3.97	3.45	2.96	3.15	2.90	2.23
	5年度	県	54.0	3.4	5.2	8.0	34.8	22.4	12.4	5.3	5.1	3.2	4.7	2.6	2.3	
		国	60.93	5.08	4.87	10.48	27.95	16.90	11.05	4.11	3.65	2.99	3.21	2.80	2.00	
	6年度	県	56.1	2.5	5.1	7.0	29.4	20.6	8.8	7.5	7.2	3.1	4.8	2.0	1.8	
		国	60.61	4.80	4.78	10.55	26.50	16.12	10.38	3.96	3.36	2.98	3.01	2.83	1.89	
	7年度	県	57.5	2.7	4.8	6.8	29.2	21.1	8.2	5.7	5.0	3.3	4.4	3.0	2.6	
		国	59.35	5.24	4.32	10.87	25.23	15.16	10.08	4.05	3.47	3.00	3.40	2.69	2.14	
	高等学校	3年度	県	70.6	5.3	3.2	7.5	39.4	26.5	12.9	7.5	4.2	2.2	5.2	0.8	1.3
			国	70.81	3.35	2.51	8.81	39.77	24.12	15.65	4.18	4.04	2.58	3.16	2.80	1.70
		4年度	県	72.9	3.8	3.4	5.0	45.3	32.5	12.8	4.8	4.7	3.6	5.4	0.8	1.6
			国	71.56	3.58	2.25	8.51	38.30	23.79	14.51	4.23	3.88	2.68	3.03	2.83	1.71
5年度		県	69.0	4.2	3.7	4.8	35.9	26.0	9.9	5.5	3.1	3.4	5.5	0.5	1.7	
		国	67.80	3.57	2.63	7.60	36.38	22.45	13.93	4.03	3.67	2.39	3.08	2.52	1.50	
6年度		県	73.1	3.8	3.6	7.7	34.3	25.0	9.3	4.7	3.9	2.9	4.8	0.8	1.8	
		国	71.06	3.32	2.62	7.91	34.70	21.54	13.16	3.87	3.54	2.60	3.09	2.66	1.42	
7年度		県	71.9	2.9	3.4	4.5	29.5	21.8	7.7	3.7	1.9	2.8	4.0	1.4	1.6	
		国	71.51	3.19	2.28	7.28	32.77	20.72	12.05	3.58	3.28	2.52	3.31	2.56	1.53	

(注) 1 この表は、疾病・異常該当者（疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載のあった者）の割合の推定値を示したものである。  
 2 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ実施している。  
 3 「…」については、調査対象とならなかった場合である。「-」については、該当者がいない場合である。  
 4 「X」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満、回答校が1校以下または疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値を公表しない。  
 5 四捨五入の関係で、計と内訳が一致しない場合がある。

図21 全国との比較



## 【肥満・痩身傾向児の算出方法について】

平成17年度まで、性別・年齢別に身長別平均体重を求め、その平均体重の120%以上の体重の者を肥満傾向児、80%以下の者を痩身傾向児としていたが、平成18年度から、性別、年齢別、身長別標準体重から肥満度（過体重度）を算出し、肥満度が20%以上の者を肥満傾向児、-20%以下の者を痩身傾向児としている。

肥満度の求め方は次のとおりである。

肥満度（過体重度）

$$= [ \text{実測体重 (kg)} - \text{身長別標準体重 (kg)} ] \div \text{身長別標準体重 (kg)} \times 100 (\%)$$

※ 身長別標準体重 (kg) = a × 実測身長 (cm) - b

	年齢	係数		男		女	
		a	b	a	b	a	b
幼稚園	5	0.386	23.699	0.377	22.750		
	6	0.461	32.382	0.458	32.079		
小学校	7	0.513	38.878	0.508	38.367		
	8	0.592	48.804	0.561	45.006		
	9	0.687	61.390	0.652	56.992		
	10	0.752	70.461	0.730	68.091		
中学校	11	0.782	75.106	0.803	78.846		
	12	0.783	75.642	0.796	76.934		
	13	0.815	81.348	0.655	54.234		
高等学校	14	0.832	83.695	0.594	43.264		
	15	0.766	70.989	0.560	37.002		
	16	0.656	51.822	0.578	39.057		
	17	0.672	53.642	0.598	42.339		

出典：公益財団法人日本学校保健会「児童生徒の健康診断マニュアル（平成27年度改訂版）」

（参考）令和7年度調査の平均身長（全国）の場合の標準体重

年齢	男			女		
	平均身長 (cm)	平均身長時の標準体重 (kg)	平均体重 (kg)	平均身長 (cm)	平均身長時の標準体重 (kg)	平均体重 (kg)
5	110.4	18.9	19.0	109.5	18.5	18.7
6	116.6	21.4	21.4	115.6	20.9	21.0
7	122.7	24.1	24.2	121.6	23.4	23.6
8	128.3	27.1	27.4	127.5	26.5	26.8
9	134.0	30.7	31.2	133.8	30.2	30.4
10	139.5	34.4	35.1	140.9	34.8	34.9
11	146.1	39.1	39.6	147.4	39.5	39.8
12	153.8	44.8	45.2	152.4	44.4	44.4
13	161.1	49.9	50.4	155.0	47.3	47.5
14	166.1	54.5	55.0	156.4	49.6	49.7
15	168.6	58.2	59.1	157.0	50.9	51.0
16	169.9	59.6	60.3	157.5	52.0	51.9
17	170.6	61.0	62.2	157.9	52.1	52.5

※令和2年度から令和5年度の調査結果については、新型コロナウイルス感染症の影響により測定時期を異にしたデータが含まれた結果であることから、今回の調査結果と比較することはできない。